



あなたに知ってほしい HIV/エイズ・性感染症

■ エイズ(AIDS)とは？

HIV(ヒト免疫不全ウイルス)に感染することで、免疫の働きが低下し様々な症状が現れる状態を言います。

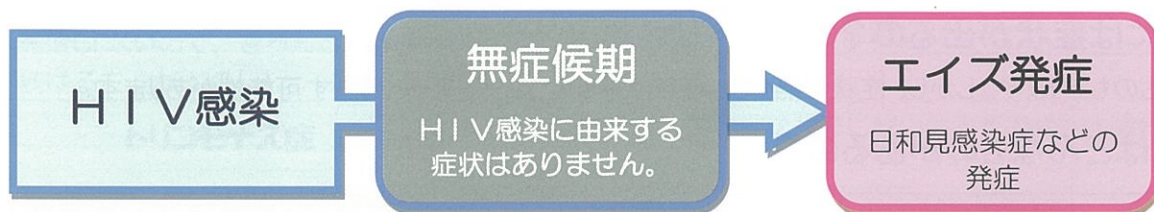
■ HIV感染からエイズ発症まで

HIVに感染しても、すぐにエイズを発症するわけではありません。自覚症状のないまま数年が経過しますが、その間に免疫力は低下し、やがて「日和見(ひよりみ)感染症」と呼ばれる、本来なら自分の力で抑えることのできる病気を発症するようになります。23の疾患がエイズ発症の指標として決められており、HIV感染者はこれらの指標疾患を発症した時点で「エイズ発症」と診断されます。

HIV=エイズ
ではないんだね！



レッドいぼんちゃん
長野市エイズ啓発
イメージキャラクター

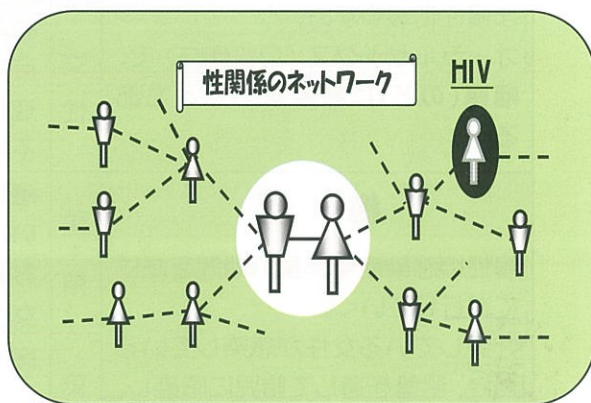


■ 早期発見・早期治療が、あなたやパートナーを守ります

Q 「私は**特定の相手**としか付き合っていないです。HIV/エイズなんて関係ないと思うのですが…」

A HIV/エイズは、過去に性行為の経験があれば誰にでも関係のある病気です。 **特定の相手だから安心と言い切ることはできません。**

右図のように、**性行為の相手が一人であっても、間接的に複数の人と接触するのと同じこと**になります。



Q 「HIVに感染したらどうしよう…怖いから検査に行けないよ」

A 早く発見することでパートナーを守ることができるだけでなく、自分自身の適切な治療が可能となります。

また、陰性の場合も自分の身体のことを見つめ直す機会となり、感染予防を心がけるようになります。

HIVの早期検査・早期発見が大切な理由

治療の進歩

感染を早く見つけ、適切な治療をすれば、エイズ発症を抑えることができます。長期間の服薬治療が必要となりますが、今までと変わらない生活を送ることができます。

まん延の防止

HIVに感染しても長い間自覚症状がないため、検査を受けなければ感染しているかどうかわかりません。しかし、その間もHIVは活動しているため、気付かないまま感染を広げてしまう可能性があります。

Q 「検査を受ける**タイミング**は？いつでも良いの??」

A HIV検査は、感染の心配がある日から**3ヶ月以上たってから**受けましょう。



HIV検査では、血液中の抗体を測ります。

HIVに感染しても、感染初期にはこの抗体が検出されない時期があり、これを「ウィンドウ期」と言います。この時期に検査すると、感染していても「陰性」になることがあります。

～3ヶ月まで	3ヶ月以降～	
ウィンドウ期	無症候期	エイズ期
検査では陰性	検査で陽性	